

1. 件名及び数量 千代田苗畑除草及び剪定業務 1 式
2. 業務場所 国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所 千代田苗畑
(茨城県かすみがうら市上志筑 52)
3. 業務期間 令和 8 年 4 月 1 日から令和 9 年 3 月 3 1 日

(1) 除草についての作業範囲と回数は以下のとおりとする。

1) 除草 (年1回)

- ① 実施箇所： 別紙 1 の橙色で示した部分（10.2ha）
- ② 実施時期： 別紙 2 のとおり
- ③ 実施方法： 草刈機、刈払機での作業又は手作業で行うこと（除草剤散布不可）。
なお、刈り取った草は刈り捨てとすること。
※自生した雑木はチェーンソー等で伐採の上、別紙 1 に示した集積場
所へ運搬すること。
※フェンス周りの除草は別紙 3 により行うこと。

2) 除草 (年2回)

- ① 実施箇所： 別紙１の緑色で示した部分（2.8ha）、ピンク色で示した部分（1.2ha）及び青色で示した部分（1.0ha）
- ② 実施時期： 別紙２のとおり
- ③ 実施方法： 草刈機、刈払機での作業又は手作業で行うこと（除草剤散布不可）。
なお、刈り取った草は、緑色部分は刈り捨て、ピンク色及び青色部分は別紙１に示した集積場所へ運搬すること。

3) 配慮事項

- ① 苗木の植栽後間もない箇所(1.0ha) 別紙1のうち区画「お」「か」「み」「E」「F」の水色部分は、苗木保護のため、苗木の周囲半径5cm程度の範囲は、手取りで十分注意しながら作業すること。
- ② 立木や工作物等への損傷には十分注意すること。
- ③ 作業後は、構内道路を清掃すること。

(2) 剪定についての作業範囲と回数は以下のとおりとする。

1) 剪定範囲

別紙 4 のとおり

なお、ダイスギ（60本）、コノテガシワ（188本）、ツツジ・サツキ（約50 m²）、事務室がある区画（約900 m²）の剪定対象木は、樹高4mまでの庭木とする。

2) 剪定回数

コノテガシワは年2回、その他は年1回

3) 実施時期

別紙2のとおり

4) 生垣の剪定高さ

130cm程度（地面からの高さ）

5) 生垣の剪定方法

上面・両側面を切りそろえて壁状に仕立てること。なお、壁状に生育していない箇所は原型をもとに美観を保つよう、適宜な方法で剪定すること。

6) 樹木園の剪定方法

整枝剪定とすること。

7) 使用刃物の種類

ヘッジトリマー、剪定鋏、刈り込み鋏等

8) 外周道路際生垣剪定作業で生じた枝葉は、敷地内側に刈り捨てとすること。なお、道路側に落下しないよう注意すること。

9) ダイスギ、コノテガシワ、ツツジ・サツキ、事務室がある区画の剪定作業で生じた枝葉は、別紙4で示した集積場所へ運搬すること。

10) 上記8)9)を除く樹木園での剪定作業で生じた枝葉は刈り捨てとすること。

11) 配慮事項

① 立木や工作物等への損傷には十分注意すること。

② 作業後は、構内道路を清掃すること。

5. その他

(1) 本業務は、事前に森林総合研究所担当者（以下「担当者」という。）と打ち合わせの上実施すること。

(2) 作業は原則平日に行うこととし、休日作業を希望する時は担当者と協議すること。

(3) 受注者は別紙2の各作業の実施前及び実施後には担当者に連絡すること。

(4) 受注者は、作業の実施に当たっては労働基準法、労働安全衛生法、労働安全衛生規則等の関係法令を遵守し、作業の安全衛生に努めること。

(5) 受注者は、作業の実施中に事故等が発生した場合には、直ちに担当者に報告すること。

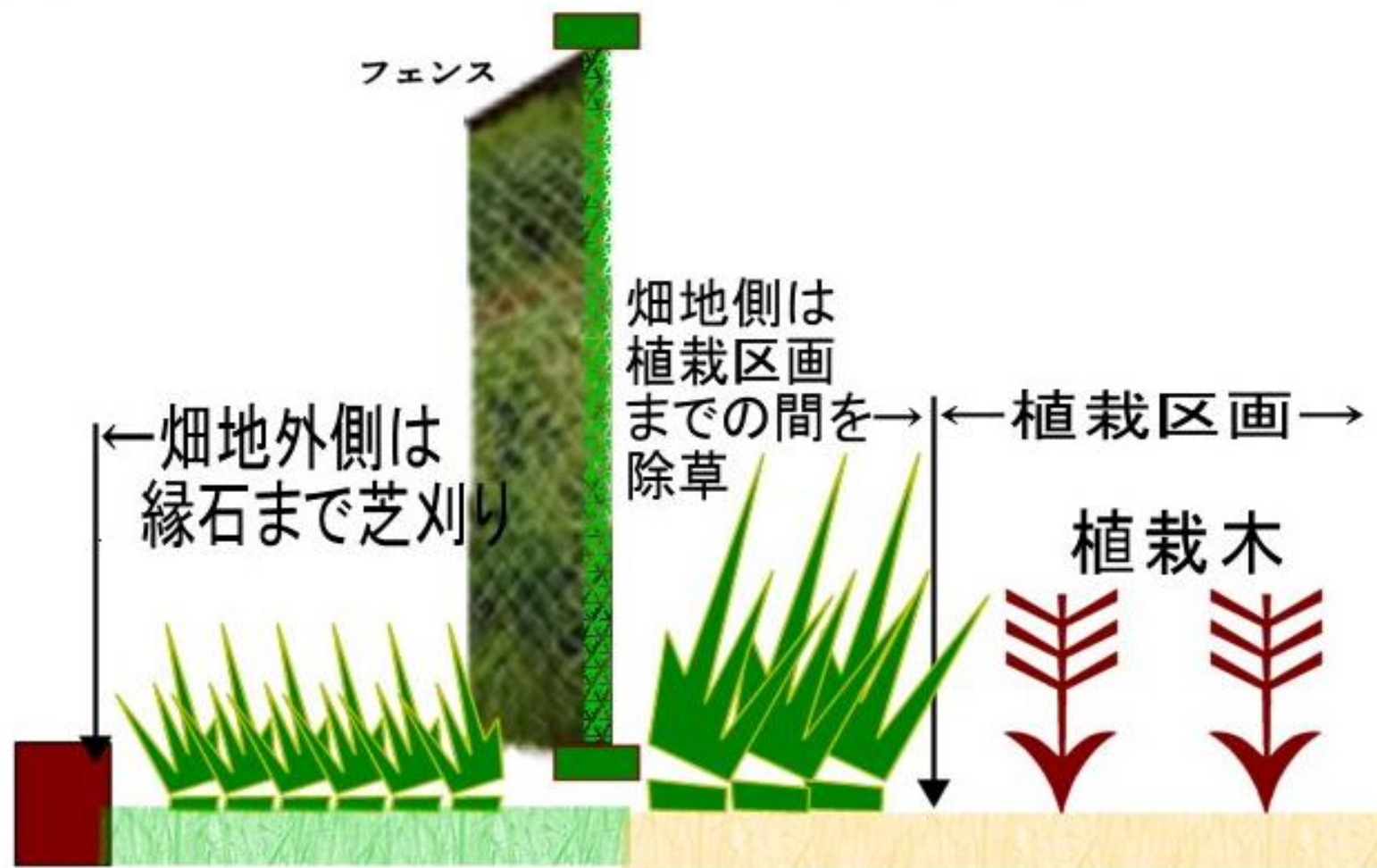
(6) 受注者は、作業完了後、作業完了報告書一式を提出すること。なお、作業完了報告書には、作業前後の写真を添付すること。

(7) 作業の詳細やその他の疑義が生じた場合には、担当者と打ち合わせを行うこと。

別紙1 千代田苗畑除草実施場所



別紙3 フェンスまわりの除草詳細



別紙4 剪定実施場所

